

研究室報告

- ①今年度は、岩井昌悟教授が休職のため講義等を担当しなかった。
- ②今年度は新入生歓迎行事として、四月ガイダンス時に学内にて交流会を行う予定であったが、新型コロナウイルスの流行のため、ガイダンスのみを実施し、交流会は中止となった。
- ③今年度海外文化研修を九月にインドにおいて実施する計画であったが、やはり新型コロナウイルスの流行のため、三月に延期された。
- ④インド国立バナーラス・ヒンドゥー大学と本学との大学間交流協定が締結されたが、これには本学部の橋本泰元教授、沼田一郎教授が尽力した。
- ⑤本年度、大学院（インド哲学仏教学専攻）の公開研究発表会を春学期（七月十三日）と秋学期（十一月二三日）に開催した。春学期には以下の発表があった。新入生研究計画は三明智達（M1）、特別学生の発表は安争瑁、赵印印、叶蓉によって行われた。研究発表は森原康輝（M2）「円覚経」の初期の註釈とその註釈者について、中川照遵（M2）「受戒制度における教団形成の変遷」、柏本智史（M2）「般若経の廻向思想における心という概念を巡って」、梅田愛子（D3）「Vinakṛtīvidesa Yamakapūja 構造」、星宮康子（D3）「チャラカ・サンヒター」における'yukti」、村田良子（D3）「Yogasikha Upaniṣad 1章の研究 —Yogajñaとの比較から—」であった。また秋学期には以下の研究発表があった。前田恭介（M2）「初期仏教研究のオリエンタリズムの性格」、星宮康子（D3）「人はいつ最期を迎えるべきか『チャラカ・サンヒター』が主張する適切な死のタイミング」。発表会開始前には、学外講師をお招きし御講演戴いた。講師名、所属、講演テーマは以下の通りである。
- 春学期 吉村誠（駒澤大学教授）「中国唯識における五姓各別説について」
- 秋学期 林隆嗣（こども教育宝仙大学教授）「パーリ仏教研究の意義」
- 両先生に厚く御礼申し上げます。
- ⑥ 白山中国学会は、三月二十六日に二十二回、七月二十三日に第二十三回の研究発表大会を実施、その中で大学院生（中国哲学専攻）の研究報告・発表が行われた。題目は以下の通り。
- 第二十二回・博士前期課程（M1）張萌芳「王陽明の思想における「一念」の意味について」、頼晨曦「莊子の「遊」の思想について」、方一「易安」ならざる人生——李清照の詞風の発展」、佐藤瑛「毛宗崗本と李卓吾本における張飛の変化研究」（M2）李華偉「四書改錯」における毛奇齡の思想」、鄭丹「謝靈運詩の声律表現について」。博士後期課程

(D3) 黒田祐介「羅近溪における「赤子の心」について」、
劉心奕「羅洪先の「万物一体」思想と社会实践」

第二十三回…博士前期課程 (M1) 王妙華「王心齋に
おける学派融合と良知説理解」、辻大晴「栃木の漢詩人—
安藤東野「東野遺稿」を手がかりに」、(M2) 張萌芳「王陽
明の思想における「一念」と「良知」の関係」、頼晨曦「莊
子」の「遊」の思想と隱遁思想の関係」、方一「李清照詞小
考—歴代詞選における採用情況分析」、佐藤瑛「張飛の形
象研究」。博士後期課程 (D1) 永田小絵「小学」と「大学」
の間—朱熹の教育観」、(D3) 劉心奕「羅洪先の「万物一
体」論—江右地域における社会实践を中心として」、水野
あゆ「民国時期の中国児童雑誌について」

また、基調講演は以下の通り。二十二回…坂井多穂子(本
学科教授)「宋代文人の日常の高雅化」。二十三回…小路口聡
(本学科教授)「王畿の心学的読書論—経書は聖人の糟粕
か?」

⑦ 本年度のティーチングアシスタントは、柏本智史、黒田祐
介、志村敦弘、福島マシユ、星宮康子、劉心奕(五〇音順)
の各氏が担当した。

⑧ 本年度の卒業論文の提出者は、第Ⅰ部東洋思想文化学科で
は九二名、第Ⅱ部東洋思想文化学科では一三名であった。大
学院の修士論文提出者は、中国哲学専攻〇名、インド哲学仏
教学専攻〇名であった。

本年度の優秀論文に対する褒賞は左記の通りである。

【校友会奨学基金】

学 部 佐藤 大地(Ⅰ部)、澤池 由綾(Ⅱ部)

大学院(大学院中国哲学専攻) 方 一

大学院(インド哲学仏教学専攻) 森原 康暉

【勸学奨学基金】

学 部 新井 裕太(Ⅰ部)、(該当なし)(Ⅱ部)

【田村芳朗奨学基金】

学 部 (該当なし)(Ⅰ部)、寒川 真羽(Ⅱ部)

大学院 中川 照遵

二〇二二年度業績（二〇二二年一月～十二月）

伊吹 敦

○研究活動

〈論文〉

「禪宗の起源」〔『国際禅研究』八、二〇二二年一月、一九～三二頁〕

「奈良・平安の禅」〔『国際禅研究』八、二〇二二年一月、九一～

一〇三頁〕

「近代化と禅」〔『国際禅研究』八、二〇二二年一月、一七七～

一八八頁〕

「近代中国における佛敎學的知見の流入と佛敎認識の變化」＋宗「大乘非佛説論」起信論偽撰説」を中心に」（『東アジア仏敎学術論集』一〇、二〇二二年二月、一七一～二二四頁）

「禅芸術」とは何か？—久松真一の「禅芸術」論とそれに対する批判を糸口として」〔『国際禅研究』九、二〇二二年二月、三七九～四一七頁〕

「内證佛法相承血脉譜」の編輯過程について—初期禅宗文献が最澄に與えた影響」〔『東洋思想文化』九、二〇二二年三月、三七九～四一七頁〕

「付法簡子」と『西國佛祖代代相承傳法記』の史的意義」（『東

洋学研究』五九、二〇二二年三月、一三三～一三六頁）

「荷澤宗としての神照・宗密の正統性—胡適の主張の問題點と南印傳の再構成」〔『印度学仏敎学研究』七一（一）、二〇二二年一月、二五四～二四七頁〕

〈翻訳〉

「宋代看話禅形成史綜述」（張超著、単訳、『国際禅研究』九、二〇二二年二月、四一～八二頁）

「一步一步「近代化」へと向かう台湾仏敎—日本からの影響に言及しつつ」（侯坤宏著、単訳、『東アジア仏敎学術論集』一〇、二〇二二年二月、一九～四〇頁）

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日・韓・中国際仏敎学術大会（幹事・編集委員）／日本佛敎学会（理事）／東アジア仏敎研究会（役員）／日本印度学仏敎学会（公員）／仏敎史学会（公員）／早稲田大学東洋哲学会（公員）

学会発表等

「A Reconsideration of the Historical Significance of Hzei Shenhui」（二〇二二年七月三〇日、国際会議「How Zen Became Chan: Pre-modern and Modern Representations of a Transnational East Asian Buddhist Tradition」、ブリティッシュ・コロンビア大学、オンライン開催）

「初期禅宗における瞑想の実践」（二〇二二年七月三十一日、武蔵

野大学仏教文化研究所シンポジウム「瞑想の歴史と実践」、
武蔵野大学武蔵野キャンパス6号館「雪頂講堂」

「荷澤宗としての神照・宗密の正統性―胡適の主張の問題點と

南印傳の再構成」(二〇二二年九月四日、印度学仏教学会第

七三回学術大会、東京外国語大学、オンライン開催)

「文献に対する認識はいかに更新され、いかなる影響を及ぼす

か―敦煌本『六祖壇経』を一例として」(二〇二二年一〇月

一五日、東洋学研究所プロジェクト(井上助成)主催シンポ

ジウム「文献は何を語るか」、東洋大学白山キャンパス6号

館六二〇四教室)

「荷澤神會の史的意義の再検討」(第二〇回東アジア仏教研究会

年次大会、一二月三日、駒沢大学駒沢キャンパス種月館)

〈研究プロジェクトへの参加〉

井上円了記念研究助成「外国人研究者との連携による東アジア

仏教の歴史と思想の解明」(研究所プロジェクト、研究代表

者)

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・東洋思想文化演習・卒論指導⑥(Ⅰ部、通年)

中国仏教史A(Ⅰ・Ⅱ部、春学期)

中国仏教史B(Ⅰ・Ⅱ部、秋学期)

仏教思想特講ⅡA(Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、春学期)

レポート・論文制作の技法(Ⅰ部、春学期)

仏教漢文A(Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、春学期)

仏教漢文B(Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、秋学期)

東洋の身体論(Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、春学期)

近代化と東洋(Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、秋学期)

総合ⅧB1(校友会寄附講座、Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、秋

学期)一回担当

「哲学館の後継者たちの活躍 境野黄洋、高嶋米峰

など」(二月一九日)

東洋大学井上円了研究(Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、春学期)

一回担当

「井上円了の仏教思想とその影響」(五月二二日)

大学院・東アジア仏教研究ⅠA・仏教学研究指導ⅣA(前期

課程、春学期)

東アジア仏教研究ⅠB・仏教学研究指導ⅣB(前期

課程、秋学期)

仏教学特殊研究ⅢA・仏教学研究指導ⅣA(後期課

程、春学期)

仏教学特殊研究ⅢB・仏教学研究指導ⅣB(後期課

程、秋学期)

○大学管理運営活動

文学研究科インド哲学仏教学専攻長、教職センター運営委員会

委員、文学部ホームページ担当委員(東洋思想文化学科)・

東洋大学東洋学研究所研究員

○社会的活動

〔公益財団法人〕 中村元東方研究所兼任研究員

岩井 昌悟（休職中）

川田 健

○研究活動

〈論文〉

「川田健（二〇二二）「台湾における日本マンガ・アニメ文化研

究概観―修士・博士論文を素材に」、『東洋思想文化』九、東

洋大学文学部紀要76集、九〇（六一）―六七〇 八四頁、二

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本中国学会（会員）・日本マンガ学会（会員）・中国古典学

会（幹事）・日本詩経学会（会員）・日本漢詩文学会（会員）

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・レポート・論文制作の技法（Ⅰ部）

中国文学講読A・B（Ⅱ部）

中国思想文化演習A・B（Ⅰ部）

漢文訓読法（Ⅰ部）

中国語学演習A・B（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ）

〈学外担当科目〉

中国語インテンシブⅣ（慶應義塾大学総合政策学部）春・秋

中国語スキル（思想）（慶應義塾大学総合政策学部）春

歴史と文明（慶應義塾大学総合政策学部）春

サブカルチャーと社会認識（慶應義塾大学総合政策学部）秋

坂井 多穂子

○研究活動

〈講演〉

「宋代文人の日常の高雅化」〔白山中国学会〕第二回発表大会

基調講演、二〇二二年三月二六日

〈その他〉

・「茶と漢詩 文人が愛した『お茶』」〔月刊 茶の間〕五月新

茶号、四三―四九頁、二〇二二年五月一日

・「茶と漢詩 長命の詩人・陸游と茶」〔月刊 茶の間〕九月初

秋号、五一―五七頁、二〇二二年九月一日

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本中国学会（会員・大会委員会委員）／日本宋代文学学会

（理事・評議員・『日本宋代文学學會報』編集委員会委員長）

／白山中国学会（理事・会計委員）／中唐文学会（会員）／

中国文史研究会（会員）／日本杜甫学会（会員）

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・レポート・論文制作の技法《春》(Ⅱ部)

中国学概論A(Ⅰ部) 六月一六日～七月二八日、七回
担当

漢文訓読法《秋》(Ⅱ部)

中国学研究法B(Ⅰ部・Ⅱ部)

中国文学講読A・B(Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ)

東洋思想文化演習ⅡA・B(Ⅰ部)

卒論指導A・B(Ⅰ部・Ⅱ部)

卒業論文《春》《秋》(Ⅱ部)

東洋思想文化への誘いA・B(Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ)

全学総合ⅠA 哲学への誘い(オンデマンド)一回担当

大学院：中国文学特論ⅡA・B(博士前期課程)

中国哲学研究指導ⅠA・B(博士前期課程)

中国哲学特殊研究ⅣA・B(博士後期課程)

中国哲学研究指導ⅣA・B(博士後期課程)

〈学外担当科目〉

東京大学教養学部「東洋古典学」秋学期

○社会貢献活動

公開講座「中国古典詩入門―李白と杜甫―」(東洋大学 生涯学習事業、七月二九日)

○大学管理運営活動

文学部東洋思想文化学科第二部学科長、東洋大学東洋学研究所
研究員・同運営委員

小路口 聡

○研究活動

〈論文〉

『孟子』梁惠王上篇「君子遠庖厨」章を読む―哲学資源として漢文を「読む」(2)―、『白山中国学』通巻二八号、二〇二二年三月 一～四二頁(横書頁)

〈訳注〉

韓夢鵬「新安理學先覺會言」訳注 其の一、『白山中国学』通巻二八号、二〇二二年三月一～二二頁(縦書頁) *吉田公平・早坂俊廣・鶴成久章・伊香賀隆・播本崇史と共著

〈翻訳〉

呉震「現成良知」(下)―陽明学とその後学の思想的展開―、『東洋思想文化』東洋大学文学部紀要第75集(東洋思想文化 学科篇Ⅷ)、二〇二二年三月、一～四七頁

〈講演〉

「王畿の心学的読書論―経書は聖人の糟粕か?」(基調講演

白山中国学会第三回 研究発表大会、二〇二二年七月二三

日、東洋大学白山校舎6301教室)

〈研究プロジェクト〉

・科学研究費助成金「『新安理学』の脱構築―中国近世の程朱

闕里における思想の変遷に関する通時的考察―(研究種目: 基礎研究 (B)、課題番号: 21H00471)、*研究代表者

東洋大学東洋学研究所運営委員・同編集委員

・科学研究費助成金「哲学資源としての漢文教材および学び方の開発に関する基礎的研究」(研究種目: 基礎研究 (C)、課題番号: 20K02730)、*分担研究者

白井 順

所属学会ならびに役職

○研究活動

〈学芸活動〉

〈論文〉

日本中国學會(会員)、白山中国学会(理事・『白山中国学』編集委員)、中国文史哲研究会(会員)、東洋古典學研究会(会員)

「朱吾弼小論―朱熹末裔の出版活動の背景」、『東洋思想文化』第九号、一〇四―一〇七頁、二〇二二年三月

〈学内担当科目〉

〈翻訳〉

学部・レポート・論文制作の技法(春学期)

尹波・郭斉著、白井順翻訳「黄土毅の理学における貢献について」『白山中国学』第二十八号、四三―五七頁二〇二二年三月

中国学概論A(Ⅰ部) *第一回から第七回担当

員)

月

○教育活動

〈学内担当科目〉

〈書評〉

中国哲学史A B(Ⅰ部)

A New Dimension on Anthology of Zhu Xi: Some Reflections on Annotated Anthology of Zhu Xi『文化中国学刊(CHINA IN CULTURE)』二〇二二年第二期、一七五―一七七頁、

東洋思想文化演習Ⅰ⑩A B / (Ⅰ部)

国際人文学会、陝西師範大学人文社会科学高等研究院、

中国哲学史A B(Ⅰ部)

二〇二二年六月

中国哲学特講A B(Ⅰ部・Ⅱ部)

所属学会ならびに役職

中国哲学特論Ⅲ(博士前期課程)

日本中国学会(会員) / 日本道教学会(会員) / 東方学会(会員) / 朝鮮学会(会員) / 韓国思想史学会(委員) / 白山中国学会(理事・『白山中国学』編集委員) / 日本儒教学会(評議員) / 日本思想史学会(会員) / 大阪市立大学中国学会(会

中国哲学演習Ⅱ(博士前期課程)

議員) / 日本思想史学会(会員) / 大阪市立大学中国学会(会

中国哲学特論Ⅲ(博士後期課程)

議員) / 日本思想史学会(会員) / 大阪市立大学中国学会(会

中国哲学特殊研究Ⅲ(博士後期課程)

議員) / 日本思想史学会(会員) / 大阪市立大学中国学会(会

中国哲学研究指導Ⅲ(博士後期課程)

議員) / 日本思想史学会(会員) / 大阪市立大学中国学会(会

中国哲学研究指導Ⅲ(博士後期課程)

議員) / 日本思想史学会(会員) / 大阪市立大学中国学会(会

○大学管理運営活動

議員) / 日本思想史学会(会員) / 大阪市立大学中国学会(会

員) / 九州大学中国哲学研究会 (会員) / 九州中国学会 (会員) / 阪神中哲談話会 (会員) / 近現代東北アジア地域史研究会 (会員)

〈研究プロジェクトへの参加〉

科学研究費補助金 (基盤研究 C) 「秋山罷齋の基礎的文獻研究」
(課題番号 21K00055、研究代表者)

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・中国文献学 A B (I部・II部)

中国語 I A I A B (II部)

中国学概論 (I部、秋学期第九回〜第十五回担当)

中国学研究法 (I部・II部、春学期)

東洋思想 (I部・II部、秋学期)

近代化と東洋 (I・II部乗り入れ、秋学期) 一回担当

「東洋学と近代」(十月十二日、七時限)

大学院・中国哲学演習 I A B (博士前期課程)

中国哲学研究指導 I V A B (博士前期課程)

中国哲学特殊研究 V A B (博士後期課程)

中国哲学研究指導 V A B (博士後期課程)

○大学管理運営活動

文学部内外国語委員会委員 / 文学部カリキュラム検討委員会委員 / 文学研究科内 F D 委員

○社会的活動

校友会公開講座「諸葛孔明のトポス」(二〇二二年十二月十日、十二月十七日)

沼田 一郎

○研究活動

〈論文〉

「古代インドの〈法〉の世界」藤井・手嶋編『プラフマニズムとヒンドウイズム…古代・中世インドの社会と思想(1)』
法蔵館、二〇二二年二月、一三七〜一五九頁。

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本南アジア学会 (会員) / 日本印度学仏教学会 (評議員・

会員) / 日本佛教学会 (会員) / アジア法学会 (会員) / 国

際井上田了学会 (会員)

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・東洋思想文化演習 (I部)

サンスクリット語 I A B

インド思想特講 I A (II部)

インド思想史 A B (I部)

東洋思想文化演習 (II部)

レポート論文制作の技法 (II部)

大学院・インド哲学概論特殊研究 III A B

インド哲学研究 I A B

○大学管理運営活動

文学部東洋思想文化学科第 I 部学科長・東洋学研究所運営委員・編集委員

野間 信幸

○研究活動

〈研究発表〉

「台湾縦貫鉄道に乗って―井上円了の漢詩紀行―」アジア文化研究所シンポジウム『アジアの鉄道路線の整備と社会教育の拡充―井上円了の日本・アジアにおける遊説再考』、二〇二二年十月十五日、東洋大学 125 記念ホール

「魯迅の『ある一行』―日中文化交流の側面―」華中科技大学文学研究院日本語専攻における授業、二〇二二年十二月五日、オンライン

〈その他〉

天理台湾学会第三二回研究大会における澤井律之氏の記念講演の司会、天理大学

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本中国学会（会員）／日本台湾学会（会員）／天理台湾学会（理事）／日本現代中国学会（会員）／白山中国学会（理事）／中国文芸研究会（会員）

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・レポート・論文制作の技法③《春》（I 部）

中国文学史 A・B（I 部）

東洋思想文化演習 I A・B（I 部）

中国文学特講 I A・B（I・II 部乗り入れ）

中国学概論 B（I 部・秋学期前半）

中国文学史 A・B（II 部）

総合Ⅷ B（校友会寄附講座、オムニバス授業、秋学期十月十五日担当）「円了の台湾巡講―南船北馬（台湾巡講）」

大学院：中国文学特論 I A・B・中国哲学研究指導 II A・B（前期課程）

中国語学研究 I A・B（前期課程）

中国哲学特殊研究 I A・B・中国哲学研究指導 I A・B（後期課程）

○大学管理運営活動

大学院文学研究科中国哲学専攻長／井上円了哲学センター運営委員

○社会的活動

アジアセンター 21（維持会員）

橋本 泰元

○研究活動

〈論文〉

「チャイタニヤのバクテイ思想の背景―南インドのバクテイ運動との関連において―」（単著、『東洋学研究』第五九号、

一九九―二四二頁、二〇二二年三月三十一日）

〈その他〉

「『死』は『苦』からの解放である」（『終活読本 ソナエ』春号、九五頁、二〇二二）

〈学会活動〉

〈所属学会ならびに役職〉

日本印度学佛教学会（理事）／日本宗教学会（会員）／日本南

アジア学会（会員）／日本佛教学会（公員）

〈研究プロジェクトへの参加〉

科学研究費助成金「インド・ヴリンダーヴァンのチャイタニヤ派における理論と実践の相互補完的研究」（二〇二〇年度

基盤研究（C）課題番号20K00061 研究代表者）

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・レポート・論文制作の技法②（I部）

インド思想史A・B（II部）

ヒンドゥー教概論A・B（I・II部）

ヒンディー語A・B（I・II部）

東洋思想文化演習ⅠA・B（I部）

東洋思想文化演習ⅡA・B（I部）

卒論指導A・B（I部）

仏教の芸能（秋学期、コーディネーター）（II部）

文学部伝統文化講座（TDB）「聲明公演」（二一月二六日開催）

大学院・インド哲学研究Ⅱ・インド哲学研究指導Ⅲ（前期課程）

インド哲学特殊研究Ⅱ・インド哲学研究指導Ⅱ（後期課程）

○大学管理運営活動

東洋大学東洋学研究所研究員・運営委員／文学研究科図書館運

営委員／学部内入試委員会委員／学部内キャリア・就職推

進委員会委員

○社会的活動

団体役員等

（特財）大法輪石原育英会評議員

山口 しのぶ

○研究活動

〈論文〉

“Character of Balinese Hindu Sanskrit Text: *Vedaparivṛṇat*

Journal of Indian and Buddhist Studies（印度学仏教学研究）

七〇巻三号、一〇六三―一〇七〇頁、二〇二二年三月。

〈講演〉

「仏教の変遷とブツダのさまざまな姿」(日本語による講演、ロシア語通訳付、外務省および在ウズベキスタン日本国大使館「日・中央アジア5か国外交関係樹立三〇周年記念事業」の一環、二〇二二年八月一〇日、ウズベキスタン、タシケント市、平山郁夫国際文化キャラバン・サライ)

〈調査〉

科研費(JP19K00064)により、インドネシア、バリ島にて宗教実態調査(二〇二二年十二月二十五日～十二月三十一日)

〈所屬学会ならびに役職〉

日本印度学仏教学会(会員)／日本宗教学会(会員)／日本南アジア学会会員／日本佛教学会(会員)／日本西蔵学会(会員)／密教図像学会(会員)／東海印度学仏教学会(会員)／東南アジア学会(会員)

〈研究プロジェクトへの参加〉

科学研究費補助金(基盤研究C)「インドネシア、バリ・ヒンドゥー儀礼におけるインド宗教の受容と変容に関する研究」(研究代表者、JP 19K00064)

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部：東洋思想文化演習Ⅱ⑦A・B (I部)
卒論指導A・B⑦ (I部)
インド・仏教の美術A・B (I部)

インド・仏教の美術A・B (II部)

チベット仏教のあゆみ (I部 春学期)

チベット仏教のあゆみ (II部 春学期)

伝統文化講座(第一、四、十一、十三、十五回およびコーディネート)

近代化とチベット

近代化と東洋 (I・II部乗り入れ、秋学期) 一回担当

「近代化とチベット」(十月十九日、七時限)

総合ⅧB1(校友会寄附講座) 一回担当「日本の近代化と東洋大学―井上円了の哲学と実践―」(I・II

部乗り入れ)「哲学館からチベットへ―明治の取経僧・

河口慧海と能海寛」十一月二十六日、五時限 一回担

当

大学院：インド仏教研究ⅣA・B、仏教学研究指導ⅡA・B(前

期課程)

仏教学特殊研究ⅡA・B、仏教学研究指導ⅡA・B(後

期課程)

期課程)

○大学管理運営活動

東洋大学文学部長／東洋大学評議員／井上円了研究センター運営委員会委員／東洋大学東洋学研究所研究員・運営委員／東洋大学アジア文化研究所研究員

渡辺 章悟

○研究活動

〈著書・翻訳〉

渡辺章悟監訳『グレゴリー・ショーペン著 インド大乘仏教の虚像と断片』国書刊行会、二〇二三年二月

『大智度論の物語(三)』(増補改訂版)、レグルス文庫二二二、第三文明社、二〇二三年三月

〈論文等〉

「般若経の第二の転法輪」『東方』第三七号、(公財)中村元東方研究所、二〇二二年三月三二日、一〇五〜一二二頁

「ブッダは何を悟ったのか ―十二縁起の解釈をめぐって―」『日本仏教心理学会誌』第十三号、二〇二二年七月、一〇六〜一〇八頁

「大乘仏教の柱としての説法者タルマバーナカ」『仏教文化』第二〇八号(東京国際仏教塾)、二〇二二年十月、十二〜二十一頁

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本印度学仏教学会(理事・評議員・企画編集委員) / 仏教思想学会(理事・評議員) / 日本西蔵学会(委員) / (公財)

東方学会(地区委員・会員) / 日本佛教学会(会員) / (公財) 東方研究会(兼任研究員) / 日本仏教心理学会(会員) 学会発表及び参加

(理事会・研究発表会に参加)

第三八回学術大会、仏教思想学会、東洋大学白山校舎六号館開

催、二〇二二年六月二五日、開催校実行委員長、記念講演の司会、理事会参加

「大乘仏教のトレンド ―大乘仏教起源論を中心として」(パネルB)：仏教研究における近年のトレンド(第七十三回学術大会、日本印度学仏教学、東京外国語大学でのオンライン開催、二〇二二年八月四日、および九月三日の理事会に参加)。

〈研究プロジェクトの主宰及び参加〉

「パウツダコーシヤ・仏教用語の『日英基準訳語集』構築に向けての総合的研究」文科省科学研究費「基盤研究(A)」(研究代表者・斎藤明「国際仏教学大学院大学」) 研究分担者)

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部：仏教思想概論A・B (I・II部)

サンスクリット語II A・B (I部)

東洋思想文化演習I・II③ (I部)

仏教思想特講IA・大乘仏教の思想I (II部)

総合ⅧA・B (校友会寄附講座、I・II部乗り入れ)

運営責任者ならびに六回の授業担当

大学院：大乘仏教研究I・仏教学研究指導I (博士前期課程)

仏教学特殊研究I・仏教学研究指導I (博士後期課程)

〈学外担当科目〉

大正大学大学院「MD仏教学特論A」秋学期

(公財) 中村元東方研究所 東方学院「大乘仏教概論」(前期・

後期

○大学管理運営活動

東洋大学東洋学研究所（運営委員・研究所員）

東洋大学校友会学生研究奨励基金運営委員会（委員）

○その他の社会活動

（公財） 仏教伝道協会・英訳大蔵経編集委員会（委員）・仏教聖

典編集委員会（委員）・助成金審査委員会（委員）／（特財）

大法輪石原育英会奨学生選考委員会（委員）／（公財）中村

元東洋思想文化賞審査委員会（審査員）／東洋大学仏教会（会

長）

二〇二二年度開講科目

・授業名、サブタイトル、担当者の順に記す。

・通年科目はA（春学期）・B（秋学期）に分かれるが、担当者が同一であり、かつ、サブタイトルが春秋通じて同一の場合、

その区分は省略して記した。

・ただし、半期のみ授業については《春》《秋》と表記した。

・担当者および《春》《秋》の授業区分に付したカッコ内の数字は、それぞれⅠ部・Ⅱ部の区別を示す。カッコ内の数字が付されて

いないものは、Ⅰ部Ⅱ部隔年開講の科目か、Ⅰ部・Ⅱ部の担当

者が同一であることを示す。

〈学部〉（五十音順）

東洋思想文化学科

アジアの古典（インドの古典に触れる）

宮本 城

アジアの文学（女性が描く、女性を描く台湾文学）

橋本恭子

イスラーム概論《秋》（イスラーム的なものの捉え方・考え方を

知る）

柴山 滋

インド現代思想《春》（ガンディーとアンベードカル）そ

の思想と対立）

石川 寛（Ⅱ）

インド古典思想概論A／インド古典哲学A／インド古典哲学I

（ヴァイシュヌ派の思想と展開）

三澤祐嗣

- インド古典思想概論B／インド古典哲学B／インド古典哲学Ⅱ
 (シヴァ派の思想と展開) 三澤祐嗣
- インド思想史A B (インド思想と宗教の潮流を概観する) 橋本泰元(Ⅱ)
- インド思想史A (インド思想と宗教の潮流を概観する) 沼田一郎(Ⅰ)
- インド思想史B (インドの叡智を探る) 沼田一郎(Ⅰ)
- インド思想特講ⅠA／インド文化論ⅡA／古代インドの社会 沼田一郎
- 《秋》(道徳・財・愛欲のインド文化史) 沼田一郎
- インド思想特講ⅠB／インド文化論ⅡB／インドの風土と文化 石川 寛
- 《秋》(インドの歴史と文化) 石川 寛
- インド思想特講ⅡA《春》(インドの歴史と文化) 三澤祐嗣(Ⅱ)
- インド思想特講ⅡB／ヨーガとアーユルヴェーダ《秋》 三澤祐嗣(Ⅱ)
- (サリーンキヤ思想とその展開) 三澤祐嗣(Ⅱ)
- インド仏教史A／インド仏教のあゆみA(ブッダの覚りとその展開) 藪内聡子
- インド仏教史B／インド仏教のあゆみB(大乘仏教とは何か) 藪内聡子
- インド・仏教の美術A(仏教の仏と神々の図像学的考察) 山口しのぶ(Ⅰ)
- インド・仏教の美術B(南アジアのヒンドゥー美術) 山口しのぶ(Ⅰ)
- インド・仏教の美術A／インド美術を見る 山口しのぶ(Ⅰ)
- (仏教の仏と神々の図像学的考察) 山口しのぶ(Ⅱ)
- インド・仏教の美術B／仏教美術を見る 山口しのぶ(Ⅱ)
- (南アジアのヒンドゥー美術) 山口しのぶ(Ⅱ)
- インド文化概論A《春》(大叙事詩『マハーバーラタ』のインド世界をたずねる) 村山和之
- インド文化概論B《春》(文学を通して見るインド文化) 宮本 城
- 韓国語A B 佐藤 厚
- 韓国仏教史《秋》 佐藤 厚(Ⅱ)
- 漢文訓読法①《秋》(漢文読解の手ほどき) 播本崇史(Ⅰ)
- 漢文訓読法②《秋》(漢文法の基礎知識) 川田 健(Ⅰ)
- 漢文訓読法③《秋》(漢文法の基礎知識) 坂井多穂子(Ⅱ)
- 基礎中国語A①《春》(異なる体系との出会い) 多田 恵(Ⅰ)
- 基礎中国語B①《秋》(異なる体系への取り組みを進める) 多田 恵(Ⅰ)
- 基礎中国語A②(中国語初心者のための授業) 橋本恭子(Ⅰ)
- 基礎中国語A③ 権 慧(Ⅰ)
- 基礎中国語A B(初級中国語) 大江千晶(Ⅱ)
- キリスト教概論／キリスト教とは何か《春》(キリスト教誕生に至る歴史とキリスト教思想の基礎) 山中利美(Ⅰ)
- 近代化と東洋《秋》(東洋は近代化をどのように受け止めたか) 伊吹 敦
- 《オムニバス形式》
- 現代に生きる仏教《秋》(人権の歴史をめぐる仏教者のかかわ

りに学び、現代社会の排除と包摂を考える) 小林惇道 (I)
現代に生きる仏教《秋》(社会課題への仏教者のかかわりに学ぶ)

小川有閑 (II)

現代のインド《秋》(ガーンデイーとアーンベードカル)

石川 寛

坐禅／坐禅の対立) (「いま」に気付く)

坐禅／坐禅の対立) (「いま」に気付く)

サンスクリット語 I A B (古典サンスクリット入門)

サンスクリット語 II A B (実践サンスクリット中級)

写経／写経の対立) (「春」)

宗教学 I A I (秘教とは何か? ユダヤ神秘主義カバラ)

宗教学 I B I (秘教とは何か? 世界の秘教)

宗教学 I A B 2 (旧約聖書・預言書を読む)

宗教学 I A (南アジアにおける宗教思想と神観念)

宗教学 I B (南アジアの宗教思想と死生観)

宗教学 II A (宗教学の基礎知識を学ぶ)

宗教学 II B (仏教をはじめとするアジアの諸宗教・思想における死生観の変遷)

宗教学 II A (日本人と宗教の関わり…伝統、そして現代)

宗教学 II B (宗教と言語、道徳)

宗教学概論 A / 宗教とは何か A (多様な教理と実践の世界)

宗教学概論 A / 宗教とは何か A (多様な教理と実践の世界)

宗教学概論 A / 宗教とは何か A (多様な教理と実践の世界)

宗教学概論 B / 宗教とは何か B (華麗なる文化と芸術の世界)

島田茂樹

宗教社会学 A

宗教社会学 B

上級中国語 A B / 中国語 V A B ① (中国語の作文)

上級中国語 A B ② (中国語長文読解)

上級中国語 A B / 中国語 V A B ① (中国語の作文)

神道史 A (日本文化における仏と神 (1))

神道史 B (日本中世の仏教と神祇 (2))

総合 VIII A B ① (日本の近代化と東洋大学―井上円了の哲学と実践―(オムニバス形式))

チベット語 A / チベット文献を読む A (古典チベット語文法)

チベット語 B / チベット文献を読む B (法華経専門品)

チベット仏教史 / チベット仏教のあゆみ《春》

チベット仏教史 / チベット仏教のあゆみ《春》

中級中国語 A B / 中国語 IV A B

中級中国語 A B / 中国語 IV A B

中級中国語 A / 中国語 IV A (聴解の基礎)

中級中国語 A / 中国語 IV A (聴解の基礎)

中級中国語 A / 中国語 IV A (聴解の基礎)

中級中国語 A / 中国語 IV A (聴解の基礎)

中級中国語 A / 中国語 IV A (聴解の基礎)

中級中国語 A / 中国語 IV A (聴解の基礎)

中級中国語 A / 中国語 IV A (聴解の基礎)

中級中国語 A / 中国語 IV A (聴解の基礎)

中級中国語 A / 中国語 IV A (聴解の基礎)

島田茂樹

島田茂樹

松野智章

松野智章

阿部順子 (I)

阿部順子 (I)

田中路子 (I)

田中路子 (I)

多田 恵 (II)

多田 恵 (II)

伊藤 聡

伊藤 聡

伊藤 聡

渡辺章悟

渡辺章悟

石川美恵

石川美恵

山口しのぶ

山口しのぶ

荒井 礼 (I)

荒井 礼 (I)

権 慧 (I)

権 慧 (I)

多田 恵 (II)

多田 恵 (II)

中級中国語B／中国語IV B（スピーキングの基礎を培う聴解）

多田 恵（II）

中国学概論A（中国学への誘い） 小路口聡・坂井多穂子（I）

中国学概論B（中国学への誘い） 野間信幸・白井 順（I）

中国学概論A B（中国思想文化——入門と手ほどき——）

播本崇史（II）

中国学研究法A（中国哲学研究の基礎知識）

白井 順

中国学研究法B（中国学の基礎知識を学ぶ）

坂井多穂子

中国現代文学史A B（中国二〇世紀文学の歩み）

田中路子

中国語学演習A B（日本語文法書を中国語で読む）

川田 健

中国史概説A／中国史概説A（中華世界の拡大と再生）

竹内洋介

中国史概説B／中国史概説B（「華夷一家」への道）

竹内洋介

中国哲学講読A B②（『天道溯源』講読）

中村 聡（I）

中国哲学講読A B（朱熹『論語集注』講読）

播本崇史（II）

中国哲学史A B（中国に哲学はあるのか？）

小路口聡（I）

中国哲学史A B（中国における「哲学」の姿）

坂本頼之（II）

中国哲学特講I A（原典資料で読む朱子学概論）

小路口 聡

中国哲学特講I B（原典資料で読む陽明学概論）

小路口 聡

中国の美術A（先史～南北朝時代の中国美術）

篠原典生（I）

中国の美術B（隋唐～明清時代の中国美術）

篠原典生（I）

中国の美術A B（中国の仏教・道教を中心とした宗教美術史）

田中知佐子（II）

中国仏教史A／中国仏教のあゆみA（初伝期から南北朝まで）

伊吹 敦

中国仏教史B／中国仏教のあゆみB（隋代から現代まで）

伊吹 敦

中国文学史A B（宋代以降の文学の諸相）

野間信幸

中国文学講読A B②（『唐詩三百首』を読む）

坂井多穂子

中国文学特講I A B（台湾の歴史を知り、文学作品を読む）

野間信幸（I）

中国文学特講I A B（中国近現代文学を読む）

近藤光雄（II）

中国文献学A（中国の文献を知るための基本知識）

白井 順

中国文献学B（中国書誌学の基礎知識）

白井 順

哲学概説A（自分の頭で考えて、自分の言葉で伝えるということ）

渡邊郁子（II）

哲学概説B（自分の頭で考えて、主体的に行動するということ）

渡邊郁子（II）

東西交渉文化史A／東西交渉史A（テュルク近現代史I）

小野亮介

東西交渉文化史B／東西交渉史B（テュルク近現代史2）

小野亮介

東南アジア仏教史《春》（スリランカ及び東南アジアに普及した上座仏教の歴史を学ぶ）

藪内聡子

東洋思想《秋》（中国の思想家たち）

白井 順

東洋思想文化演習I・II①A B（インド哲学の原典を読む）

日本仏教史 B / 日本仏教のあゆみ B (日本における仏教のあゆみと社会・文化―鎌倉時代から明治時代まで―)

橘川智昭 (II)

比較宗教 A B / 宗教間の差異と対話 A B

ヒンディー語 A 《春》 (ヒンディー語入門 I)

ヒンディー語 B 《秋》 (Introduction to Hindi2)

ヒンドゥー教概論 A B (ヒンドゥー教の思想を学ぶ) 橋本泰元

仏教漢文 A 《春》 (仏教漢文の基礎)

仏教漢文 B 《秋》 (經典注釈・浄土教文献を読む)

仏教思想概論 A B / ブッダの思想とその展開 A B (仏教の思想とその展開)

仏教思想特講 I A / 大乘仏教の思想 I 《春》 (?空の世界に何があるのか?) 渡辺章悟

仏教思想特講 I B / 華嚴の思想 《春》 (『大乘起信論』の哲学) 渡辺章悟

——東アジア華嚴思想の基礎—— 橘川智昭

仏教思想特講 II A / 禅の思想 《春》 (禅思想の形成と社会との交渉) 伊吹 敦

仏教思想特講 II B / 密教の思想 《秋》 (密教の思想) 金本拓士

仏教思想特講 III A / 初期仏教の思想 《春》 (初期仏教の思想) 藪内聡子

仏教思想特講 III B / 念仏の思想 《秋》 (浄土思想 (特に阿弥陀信仰) の形成・展開とその影響) 水谷香奈 (I)

仏教と社会福祉 《秋》 (『いのち』) 向き合う仏教者の活動に学

小林惇道 (I)

仏教と社会福祉 《秋》 (『いのち』) 向き合う仏教者の活動に学

ぶ) 小川有閑 (II)

仏教の芸能 《秋》 (仏教伝統歌謡の基本を学び実修してみよう) 橋本泰元 (II)

(オムニバス形式)

ヨーガ 《春》 / ヨーガのこころ (ヨーガの実践をとらえて思想を学ぶ) 番場裕之 (II)

レポート・論文制作の技法 ① 《春》 坂井多穂子 (II)

レポート・論文制作の技法 ② 《春》 橋本泰元 (I)

レポート・論文制作の技法 ③ 《春》 沼田一郎 (II)

レポート・論文制作の技法 ④ 《春》 (卒業論文への第一歩) 野間信幸 (I)

レポート・論文制作の技法 ⑤ 《春》 小路口 聡 (I)

レポート・論文制作の技法 ⑥ 《春》 川田 健 (I)

レポート・論文制作の技法 ⑦ 《春》 伊吹 敦 (I)

〈大学院〉

インド哲学仏教学専攻

博士前期課程

インド哲学研究 I A B・インド哲学研究指導 II A B

インド哲学研究 II A B・インド哲学研究指導 III A B

インド哲学研究 IV A B

インド哲学仏教学特殊演習 A B

沼田一郎

橋本泰元

高島 淳

伊藤 真

インド仏教研究ⅠA
 松村淳子
 インド仏教研究ⅠB
 松村淳子
 インド仏教研究ⅡA B
 松村淳子
 インド仏教研究ⅢA B・仏教学研究指導ⅠA B
 渡辺章悟
 インド仏教研究ⅣA B・仏教学研究指導ⅡA B
 山口しのぶ
 インド仏教研究ⅤA B
 田中公明
 東アジア仏教研究ⅠA B・仏教学研究指導ⅣA B
 伊吹 敦
 東アジア仏教研究ⅢA B
 林田康順
 東アジア仏教研究ⅣA B
 陳 継東

博士後期課程

インド哲学研究指導ⅡA B・インド哲学特殊研究ⅡA B
 橋本泰元
 インド哲学研究指導ⅢA B・インド哲学特殊研究ⅢA B
 沼田一郎
 仏教学研究指導ⅠA B・仏教学特殊研究ⅠA B
 渡辺章悟
 仏教学研究指導ⅡA B・仏教学特殊研究ⅡA B
 山口しのぶ
 仏教学研究指導ⅣA B・仏教学特殊研究ⅢA B
 伊吹 敦

中国哲学専攻

博士前期課程

中国哲学演習ⅠA B・中国哲学研究指導ⅣA B
 白井 順
 中国哲学演習ⅡA B・中国哲学研究指導ⅢA B
 小路口聡

中国文学演習ⅠA B・中国哲学研究指導ⅤA B
 大野公賀
 中国哲学研究ⅠA B
 中村 聡
 中国哲学特論ⅢA B
 小路口聡
 中国文学特論ⅠA B・中国哲学研究指導ⅡA B
 野間信幸
 中国文学特論ⅡA B・中国哲学研究指導ⅠA B
 坂井多穂子
 中国文学特論ⅢA B
 有澤晶子
 中国語学研究ⅠA B
 野間信幸
 中国語学研究ⅡA B
 橋本恭子

博士後期課程

中国哲学特殊研究ⅠA B・中国哲学研究指導ⅠA B
 野間信幸
 中国哲学特殊研究ⅡA B・中国哲学研究指導ⅡA B
 大野公賀
 中国哲学特殊研究Ⅲ・中国哲学研究指導ⅢA B
 小路口聡
 中国哲学特殊研究ⅣA B・中国哲学研究指導ⅣA B
 坂井多穂子
 中国哲学特殊研究ⅤA B・中国哲学研究指導ⅤA B
 白井 順

二〇二二年度東洋思想文化学科卒業論文題目

〔I部〕

中村 巴大

麻雀へのイメージの変容——いかにして麻雀は賭博から知的ゲームになったか——

石垣 林太郎

世阿弥における序破急観の展開と『拾玉得花』

小川 祐良

井上円了の妖怪学——特に教育との関係を中心に——

梶 陽子

江戸時代の狩野派と文人画の花鳥画——探幽と燕村を中心に——

内藤 あゆみ

朝鮮仏教における妻帯論争——日本の植民地支配が仏教に与えた影響——

森 美月

仏教説話から芸能へ——受容層からみる道成寺伝説の変化——

井上 湧朗

奈良・平安時代の高僧からみる山林仏教
丙午の迷信とその影響

千葉 翔

中国の妖怪↪輸入妖怪の変遷↪

今井 身土

2022北京五輪開幕

岡崎 日和

諸子百家の築いた中国
『蝶のしるし』と『ある鰐の手記』における主人公の振る舞いの違いと周開との関係性

萩原 麗彩

公の振る舞いの違いと周開との関係性

長谷川 温人

日中の文化的背景から見る異類婚姻譚

三浦 巧

日本語母語話者の中国語語彙習得方法の一考察——日中同形同義語を手がかりに

古川 瑞樹

中国仏教の伝来と日本社会における変遷
廁神信仰と古代中国のつながり

池田 良輔

封建的身分制度の歴史をもつ台湾のジェンダーフリー——国家への歩み

稲村 彩花

諸葛亮孔明の虚実↪史書と小説の比較を通じて↪
清末民初のリベラリズムに関する一考察——嚴復

栗橋 渚生

が与えた影響と貢献——

黄 永華

姐己の人物像の変遷——史伝・女訓書。小説からアニメまで——

永友 れみ

『金瓶梅』と恋愛論 西門慶に見る男の魅力
「狂人日記」と「立人思想」——「乃公」像と「食人」を中心に

三前 遼樹

始皇帝の中華統一

張 瀟濤

虎の変身譚——『李徴』から『山月記』まで——
日中笑話の比較論

井田 優斗

『史記』に見る徐福考察↪なぜ始皇帝は最期まで徐福を信用したのか↪

佐藤 すみれ

韓非の法思想と君臣関係
現代に發揮される「不忍人之心」——『孟子』「人皆有不忍人之心」章を読む——

梅村 遼太郎

儒教の宗教性と現代的意義

田中 智博

塚原 竜也

阿相 華奈

馬越 雄大

久野 皓樹 孔子の教えは現代にどう活かせるか
 加藤 祐人 孟子の性善説から見る現代社会
 鈴木 春香 老荘思想から考えるZ世代の幸福論
 新井 裕太 東西清真寺建築比較「宗教沐浴施設の有無」
 瀬田 知里 『デーヴィー・マーハートミヤ』に描かれる「女神信仰」
 川口 紘平 慈悲が教育に与えたもの
 阿部 愛加 近代主義批判を通じてガンディーが伝えたかったこと
 小野 二千翔 禪の特性を学ぶことによる剣道の競技力の向上
 金城 美羽 色が人に与える心理的影響について
 内藤 佑香 アジアにおける人間と動物
 村山 英怜奈 精進料理に関する考察
 森上 有紗 古代インド思想と現代脳科学から読み解く「心」の概念
 後藤 あみ花 日本が独自に生み出した聖獣「狛犬」
 松本 樹菜 文化と宗教と酒
 徳永 菜月 オウム真理教が日本社会に与えた影響
 中澤 清佳 日本人の呼吸観
 内海 はる 日本人の宗教観念から見る仏教式葬儀
 佐々木 優花 インドの義務教育を考える——ケーララ州と明治期の日本の比較を通して——
 森田 実季 近代日本における「カレー」の受容と変化

鈴木 優奈 魯迅の『彷徨』について——登場人物の傷を巡って——
 曹 順一 リービ英雄の作品から見る「農民」と「市民」・「北部」と「南部」の比較
 立花 真帆 『芸旦の家』における采雲の生き方について
 井上 優 ヨーガの歴史的概念とグローバル化による歪曲
 猪股 陽之裕 『マハーバーラタ』における世界創造説「モークシャダルマ篇と五粗大元素」
 岡田 音桜 インド文献における浄・不浄の観念と女性視——そこから繋がる男女格差の問題——
 後藤 択斗 カースト制度における不可触民の改宗について
 菅谷 拓未 ヨーガの神秘主義についての一考察
 増田 花音 中華料理は日本食といえるのか
 三浦 聖菜 アンベードカルの不可触民解放運動について
 佐藤 大地 ヒンドゥー教における聖牛崇拜について
 杜 雪恵 インド女性の社会進出
 陳 佳晨 クリシュナの説く幸福とは
 方喰 一貴 ガンディーとアンベードカルのカーストをめぐる対立について
 野口 一輝 カレーから見るインドの食文化について
 植松 亮太 ヒンドゥー教の受容性と多様化について
 羽坂 紗 インドの女性を苦しめる慣習について
 稲 知希 なぜBTSは世界的人気を得ることができたのか

浅井 良太 ヴィシヌスの化身神話の誕生背景についての考察
久保 明日香 映画で表現されるインド文化

廣岡 瑞樹 インドの女神の二面性について

深井 大揮 パリ舞踊から考察する観光資源化への芸能文化

松丸 かなた パリ島の観光開発が伝統社会に及ぼす影響

大澤 絵美 インド舞踊における今日までの変遷

佐藤 美涼 パリ島の伝統芸能における文化の継承

前田 拳士郎 日本の浮世絵の発祥と技術、そして、世界への影響

伊藤 光海 ヒンドゥー教の神像彫刻に関する研究 エレフアンタ島石窟寺院群とエローラ石窟寺院のヒンドゥー教美術表現について

高橋 孝太 多文化国家としてのシンガポール——文化の発展とアイデンティティ

細島 大輝 現代アート 西洋芸術と東洋美術の融合を迎えて

城所 優美子 ガンダーラと日本の間における弥勒菩薩像の変遷

河野 万理 タイの格差社会はなぜなくならないのか

宮下 真優 パティックの変遷——インドネシアを中心に見る

河西 輝星 更紗——

インド映画の価値、描写された社会と実際の社会

の關係について

梅澤 日和 インド思想から見る『秘密集会タントラ』修行法

の実践

大塚 颯斗 温泉の有用性と仏教との関わり

岡村 尚学 『聖諭』における老荘思想の要素の分析

可児 一真 神仏習合と比叡山の神々

清川 理奈 藤原道長の仏教信仰について

宮本 雄真 唯識における阿頼耶識の典拠とその意味

中山 皐汰 神仏習合における神宮寺の形成過程とその影響

久保田 敏基 『往生要集』と二十五菩薩来迎について

伊良原 由暉 サリンジャーの東洋受容

岩村 遼 廃仏毀釈と平田篤胤の仏教批判

増田 あゆみ 『秘蔵宝論』から見る弘法大師空海の思想

〈II部〉

澤池 由綾 中国古典詩における「桃」の呪術性とその変化

福島 颯 女誠扇綺譚における佐藤春夫からみた台湾——植

民地時代の台湾女性像——

川上 美霞 現代音楽と古典の關係——「經典咏流伝」を通し

て

梅津 公一 海を渡った唐詩 欧州世紀転換期における唐詩の

受容と展開

寒川 真羽 マインドフルネスと仏教

稗田 耕大 結婚式から見る日本人の宗教観

市川 温子 デジタルデータベースの継統・運用についての考

察——SAT大正新脩大藏經テキストデータベース

スを題材として――

鈴木 風風 スタジオジブリのアニメーション作品にみる神話

宮川 俊輔 郁達夫と郭沫若の女性観

廣井 萌夏 李昂『夫殺し』における女性像

東浦 晃明 ガーンデイーのアヒンサー思想

嶋田 勝史 インド第三の性 ヒジユラにおける聖性について

大須賀 美順 教育格差への向き合い方――井上円了の目指した

社会教育

大学院中国哲学専攻修士論文

頼 晨曦 『莊子』の「遊」の思想と隠逸思想

方 一 「李清照詞小考――歴代詞選における採用状況分

析」

大学院インド哲学仏教学専攻修士論文

森原 康暉 『円覚経』の研究―初期の註釈者・成立問題・思想の検討を中心として―

中川 照遵 「受戒健度における仏教教団の変遷」

